

「どうせやらなきゃならぬなら……」

——ロシア語、あるいは少数派であることへのいざない

「英語だってろくすっぽ喋れないのに、もう一つ外国語だなんて、面倒くせーなー。受験勉強が終わったばかりなのに、また勉強なんて、あー嫌だ嫌だ。とにかく、できるだけ簡単そうなやつを選ぶに限るね。えー、なにに、ロシア語だって？ なんだこの文字。読めねーぞ。ロシアなんてカンケーないし。あー面倒くさ面倒くさ。パス、パス」。

АБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯ



もちろん、こんな言葉をわれわれロシア語教員が直接学生の口から聞くことはない（みなさん礼儀正しいのですね）。でも、毎年外国語を選択してゆく新入生の沈黙からは、こうした声がいつもはっきりと伝わってくる。そう、**ロシア語はあんまり人気がない**。新潟大学のロシア語選択者は、ここ数年というものの、つねに少数派だ。いや、新潟大学だけの話ではない。日本全国津々浦々、ロシア語を学ぶ人はつねに少数派で、われわれロシア語教員は、いつも針のむしろに立たされている。ソ連の共産主義が人類の輝かしい未来を約束しているように見えた時代はとうに過ぎ去ったし、ドストエフスキーやトルストイの翻訳に感動してロシア語を勉強しようと思いつくような殊勝な人は、いまや天然記念物なみに稀になった。ロシア語の少数言語化は、もはや世界の趨勢なのだ。それに、ロシア語はたしかに難しい。そもそも、アルファベットからして違う。

абвгдеёжзийклмнопрстуфхцчшщъыьэюя

たしかにこれでは敬遠するのも無理はない。ロシア語なんて面倒くさそうな言語をわざわざ選ばなくても、もっとおしゃれで、やさしそうな言語はほかにいくらでもある……たしかに、そんなふうに見えるのだ。

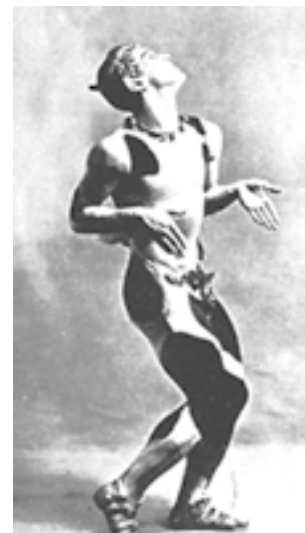
でも、君たちよりは事情をいくらかよく知っているわれわれロシア語教員は、たとえ時代の流れに逆らうことになっても、たとえ誰も本気にしてくれなくても、はっきり言わねばならない。

「君の考えは、間違っている！」

証明しよう。

①ロシア語はたしかに難しい言語だ。とりあえず文字がとっつきにくいし、この壁を突破した後でも、難しいところはいくらでもでてくる。でも、最初の一歩を超えた後が難しいのは他の外国語だって同じだ。**Hi! How are you?** と言うのがやさしいからといって、英語がやさしい言語だなどとは誰も言わないだろう。**ロシア語はたしかに難しいけれど、英語だってドイツ語だってフランス語だって同じくらい難しいのだ。**

②それに、ロシア語がはっきりと他の外国語よりやさしいと言える部分だって、いっぱいある。教科書の最初で習うことだけど、「これは家



です」は、ロシア語で ^{エータ ドーム} Это дом. と言う。単語は二つ。直訳すれば「これ、家」だ。be動詞現在形に相当する語は省かれる。そして何より、**ロシア語には冠詞がない。いままで君たちをさんざん悩ませてきた、あの冠詞がないのだ。**それから綴り字と発音の関係。文字さえ覚えてしまえば発音はいとも簡単。**基本的に文字と音は一対一で対応している。**wouldを「ウド」と読んだり、Freudeを「フロイデ」と読んだり、Mademoiselleを「マドモワゼル」と読んだりなど、そんな苦勞はいっさいない。

③ロシア語履修者の状況はあきらかに恵まれている。他の外国語にくらべて聴講生が少ないのだからあたりまえだ。授業は小人数で、一人一人の理解度を確認しながらおこなわれるから、**無理に進むということがいっさいない。**いつ質問してもいいし、いつ教員の研究室に遊びに行ってもいい。これほど寛いだクラスは、ちょっと他に思いつかない。

④ロシアは縁遠い世界ではない。新潟は日本海をはさんでロシアと面しているし、新潟の街を歩いているとロシア人にしばしば出会う。歴史の面から言っても、精神的な面から言っても、**ロシアは日本人の心の底の深いところに意外なほど根を下ろしている**（ただそれを意識しないだけだ）。ロシア語を深く学べば学ぶほど、そのことは痛感されてくるだろう。ドストエフスキーやトルストイを始めとするロシア文学、エイゼンシュテインやソクーロフのロシア映画、チャイコフスキーやショスタコーヴィチの音楽といったところから、かわいいアニメのチェブラーシカに至るまで、「ロシア」は私たちの毎日の生活のなかに息づいているのだ。

⑤ロシア語は日本では少数派だけれど、**世界ではじつに多くの人が使っている言語だ。**英語や中国語なんかにはかなわないが、世界第五位の使用者を有する言語であり、国連の公用語でもある。ロシア語を少し知っているだけで、世界は一気に拡大するのだ。ロシア語力を公的に認めてくれる制度もある。履歴書に書けるのは英検の級だけではない。毎年二回全国規模でおこなわれるロシア語能力検定試験を受けて、それを就職に役立てることだってできるだろう。

⑥そして何より、ロシア語履修者であることには、**少数派であることの甘美な魅力**がある。ほかの外国語は、君がやろうがやるまいが、知っている人はいっぱいいる。でも、君のまわりにロシア語の単語を一つでも言える者がいるだろうか。「イクラ」や「ノルマ」といった語がもともとはロシア語であることを知っている人が、日本全国でどれくらいいるだろうか。君がひとに知られたくない思い出を手帳に書き込みたいと思ったら、ロシア語アルファベットで書くといい。誰も読めはしないだろう。ロシア語を少しでも知っているということは、それだけでじゅうぶん大きな利点なのだ。

абвгдеёжзийклмнопрстуфхцчшщъыьэюя

さあ、ロシア語を勉強して、声低く、しかし誇らしげにつぶやいてみよう。^{ヤー ニム ノーガ} Я **немного**
^{ガヴァリュー パ ルースキ} **говорю по-русски.** (私は少しロシア語が話せます)。あなたを見る周囲の眼が、この呪文で一変することは間違いない。それもそのはずだ。**あなたは、ひとの知らない、限りなく豊かな世界にアクセスできる、特権的な少数者なのだから。**

